



# くすりと健康

一般社団法人  
神戸市薬剤師会

## 糖尿病

糖尿病の薬の中には、食事のタイミングに合わせてきちんと服用しないと効果が十分表れないばかりか、逆に血糖値が下がりすぎて低血糖症状が起こることがあり、指示通りに服用することがとても大切な薬があります。そこで、今回は糖尿病の内服薬の種類と特徴を紹介します。

### ピブアナイド系

肝臓で糖が作られる量を減らす作用があります。低血糖が比較的起こりにくいですが、下痢などの消化器症状の副作用が起こることがあります。

### スルホニルウレア系

血糖値を下げる効果のあるインスリンのすい臓から分泌される量を増やして血糖値を下げます。そのため、食事のタイミングに合わせて服用する必要がありますが、服用のタイミングを間違ったり、下痢などの体調の

変化などで低血糖が起こったりすることがあります。また、体重が増えることもあります。

### αグルコシターゼ阻害薬

腸での糖の消化吸収を遅らせ、食後に血糖値が急激に上がるのを防ぎます。そのため、食事のタイミングに合わせる必要がありますが、糖の吸収を遅らせるだけなので、血糖値が下がりにくいですが、おなか張る、放屁が増えるなどの消化器症状の副作用が起こることがあります。

### チアソリジン系

インスリンの効きをよくすることで血糖値を下げ、1日1回の服用で効果が続きます。低血糖が起こりにくい反面、むくみや心不全などの副作用が起こることがあります。

### 速効型インスリン分泌薬

すい臓から分泌されるインスリンの量を増やして血糖値を下げます。そのため、食事のタイミングに合わせて服用する必要がありますが、服用のタ

イミングを間違えると低血糖が起こったりすることがあります。

### DPP-4阻害薬

食事を取ることで増える消化管ホルモンの分解を抑え、結果としてインスリンの分泌量を増やします。血糖値が上がらなければインスリンの分泌量も増えないので、低血糖が起こりにくい薬です。

最近では、作用の違う2種類の薬を組み合わせた配合剤も増えてきています。糖尿病の薬は、医師が患者さんの状態や生活環境、合併症、既往歴などを勘案して使用する薬を決めています。もし気になることがあれば、一度主治医にお尋ねください。また、特保などの健康食品でも糖の消化吸収を遅らせる効果を持つものもあるので、糖尿病治療の方が摂取する際は、医師か薬剤師にご相談ください。

(北区) 薬局エヒワファーマシー

松本 博志